

基本理念

市民に親しまれ、府中らしさを受け継ぐまちづくりの拠点となる庁舎

基本方針	整備方針
市民に親しまれる開かれた庁舎	- 市民サービス向上につながる庁舎の機能 - 市民が集う開かれた庁舎を実現するための機能
環境に配慮した安全な庁舎	- 防災・災害復興拠点機能 - 環境との共生に関する機能
市民サービスのために使いやすい効率的な庁舎	- ユニバーサルデザインに関する機能 - 行政執務機能及び執務環境に関する機能 - 将来の変化に対応できる機能
まちづくりとの連携を担い、市民が誇りを持てる庁舎	- 市民参加のまちづくりや市民協働を支える機能 - 地域の交流及び発展への貢献

府中らしい個性ある新庁舎の考え方

- 京王線府中駅とJR府中本町駅のにぎわいをつなぐ庁舎
- 市民と行政との協働を支える庁舎
- 歴史あるまち、魅力あるまちを発信する庁舎
- 水と緑の豊かな空間のある庁舎

府中市庁舎建設基本計画を策定しました
平成27年2月に府中市が目指す市庁舎像を明らかにし、設計に向けた基本的な指針となる府中市庁舎建設基本計画を策定しました。左図のとおり基本方針や整備方針を設定し、「市民に親しまれ、府中らしさを受け継ぐまちづくりの拠点となる庁舎」を基本理念としています。

庁舎建設 ふちゅう かわら版

第8号



読者のみなさんへ
市庁舎建設基本計画の概要や、新庁舎の設計者選定委員会について、詳しく紹介します。

府中市新庁舎建設設計者選定委員会(第1回)を開催しました

去る4月14日に、市役所北庁舎会議室にて、新庁舎の基本・実施設計を行う設計者を選定するため、第1回府中市新庁舎建設設計者選定委員会を開催しました。

第1回では委嘱状や諮問書の伝達を行い、委員長に倉田直道氏、副委員長に田中友章氏を選出しました。

主に、公募型プロポーザル方式の実施に係る手続を定めた募集要項の内容を議題とし、選定スケジュール、事業者の応募資格や様式などに関する議論を通して、柔軟かつ高度な発想力や設計能力、豊かな経験を有する設計者を選定するための条件を設定しました。

今後は、7月6日に1次審査、7月26日には公開プレゼンテーションを通して2次審査を行い、新庁舎の設計者を選定する予定です。



府中市新庁舎建設設計者選定委員会委員 (五十音順、敬称略)	氏名	赤松 佳珠子	倉田 直道	桑田 仁	田中 友章	吉野 誠
	役職名等	法政大学准教授	工学院大学名誉教授	芝浦工業大学教授	明治大学教授	府中市副市長



現在、新庁舎の基本・実施設計を行う設計者を募集しています

府中市庁舎建設基本計画に基づき、4月16日より新庁舎の基本・実施設計を行う設計者を募集しています。事業者の募集に当たっては、基本計画における基本理念や基本方針等を踏まえ、府中らしい個性ある新庁舎の考え方や整備方針に基づき、現在地での合理的な建替えの考え方を含めた、具体的な機能について提案を求めます。

【主な応募資格】

- ・建築士法第2条に規定する一級建築士の資格を有する者
- ・建築士法第23条に規定する一級建築士事務所登録をしていること
- ・建築設計の責任者として、述べ床面積8,000㎡以上の新築による公共建築物の実績を有する者
- ・建替計画の立案、実施に係る経験を有する者(協力事務所可)を入れること

現場説明会を開催しました

去る4月23日に、応募資格を持つ事業者を対象に、現在の市役所の現場状況を確認する機会として、通常入れない地下や議場、屋上など、設計作業において重要となる箇所に関して案内する説明会を開催し、多くの事業者にご参加いただきました。

庁舎の建替えは、現在地で解体と建設を繰り返し行う必要があり、工程が複雑になることが予想されることから、現庁舎の構造を正確かつ詳細に把握した設計者が設計を行うことが望ましいと考えているため、このような説明会を開催しました。

屋上では、府中駅や府中本町駅、けやき並木など本市の名所に関しても説明を行い、設計作業に求められる「府中らしさ」について考えていただく場を設けました。



事務局
より

今後も、庁舎建設の設計者の選定に関する情報や、新庁舎建設の進捗状況などについて、引き続き、このかわら版でお伝えします。
また、市のホームページにおいても、庁舎建設に関する情報を随時更新しますので、ご覧ください。(本紙上のQRコードからもご覧になれます)。
■市ホームページのアドレス <http://www.city.fuchu.tokyo.jp>

＜お問い合わせ＞
府中市 政策総務部 政策課 庁舎建設担当
TEL 042-335-4129(内線3483)
FAX 042-366-7752
E-mail chousuya01@city.fuchu.tokyo.jp

